



平成 24 年 9 月 24 日

各位

会 社 名 株式会社ディー・ディー・エス  
代 表 者 代表取締役社長 三吉野 健滋  
(東証マザーズ・コード番号 3782)  
問合せ先 I R 室 長 鈴木 達也  
電話番号 0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0  
(URL <http://www.dds.co.jp>)

資本業務提携に伴う第三者割当による新株式発行、  
主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 9 月 24 日開催の取締役会において、香港証券取引所に上場する World Wide Touch Technology (Holdings) Ltd. (以下、「WWTT」という。) および WWTT 社の完全子会社である Cybertouch-Tech Co Ltd. (以下、「CTT」という。) との間で資本業務提携 (以下、「本資本業務提携」という。) を行う旨及び、CTT 社を割当先とした第三者割当による新株式の発行 (以下、「本第三者割当増資」という。) を行う旨を決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、今回の第三者割当により主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動が見込まれます。

なお、本件については、平成 24 年 9 月 12 日開催の取締役会において決議し、同日東海財務局へ有価証券届出書を提出いたしました。しかしながら、当該有価証券届出書に不備があったため、同日取締役会において取り下げを決議し、取下げを実施しました。本日、改めて本件について決議し、お知らせするものです。

記

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の目的及び理由

当社グループは、平成 7 年の設立以来、産学官連携による独創的な R&D を展開し、技術移転を積極的に推進することにより、指紋認証を始めとする生体認証テクノロジーをコアに事業活動を行ってまいりました。

しかしながら、当社グループは 5 年前の赤字転落以来、経営再建の途上であり、今年度ようやく黒字化が見えつつある状況です。当社グループは限られた経営資源の中、業績向上に向けて既存事業の営業強化をしながら、新たな市場開拓、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいりました。タブレット型 PC やスマートフォンの普及が急激に浸透する環境のもと、当該情報端末機における情報セキュリティに対して大幅な需要増が見込まれるため、当社グループとしても外部環境の変化に対応すべく研究開発を進めており、先日出展した展示会においても一部参考出品しております。

この様な状況下において、平成 24 年 7 月 27 日に米国 Apple 社による、同じく米国の指紋認証関連メーカーの AuthenTec 社の買収が発表されました。これは Apple 社製の PC やスマートフォンおよびタブレット PC に指紋認証装置が搭載される可能性が高い事を予感させ、当社を取り巻く環

境が劇的に変わるものと考えております。この変化は、対応如何でピンチにもチャンスにもなるものですが、チャンスとするには、研究開発、ビジネスモデルの再構築などのスピードを上げる必要があります。

世界のスマートフォン市場については、Apple 社と Samsung 社は、出荷台数ベースで平成 24 年第 1 四半期では、Samsung 社が 29.1%で 1 位、Apple 社は 24.2%で 2 位となっておりますが、平成 23 年第 2 四半期に Apple 社が Nokia 社を抜いて 1 位になり、同第 3 四半期には Samsung 社が Apple 社を抜いて 1 位、同第 4 四半期では Apple 社が 1 位を奪還と抜きつ抜かれつのシェア争いを繰り広げております（※1）。Apple 社と Samsung 社は、シェア争いだけでは無く、特許を巡った争いを続けるなど激しい競争を行っております。上述の指紋認証センサーメーカーである Authentec 社においても、Samsung 社は、Apple 社の買収発表の 10 日前に、同社の技術を採用する旨を発表しておりました。

Apple 社は、他社を買収した後、買収した会社の技術を Apple 社以外に供給しないという事例が散見されます。この様なことから、Authentec 社においても、同様に他社への供給がなされなくなる可能性が想定されます。

指紋認証センサー業界は、Authentec 社が NASDAQ に上場後、同業他社を買収してきた結果、世界的には、Authentec 社と Validity Sensors 社の 2 社に集約されつつあります。Authentec 社は、上場で得た資金力を使って投資を行っていることもあり、特にソフトウェア部分に関して、先行しております。

当社は、Authentec 社と競合する Validity Sensors 社とは平成 20 年より提携関係にあり、ソフト開発部分においては、当社の今後の開発による対応が期待されています。また、WWTT グループは Validity 社のセンサーを装置として組み立て、Samsung 社をはじめとした世界の PC メーカー、携帯電話メーカーなどに供給しております。

一方、日本のセキュリティ認証市場については、従来の IC カードなどによる認証と生体認証による認証が競合しており、生体認証には当社が主力とする指紋認証に加え、指静脈、掌紋など新たな認証方式が出てきており競争が激化してきております。これに加えて、上述の Apple 社による Authentec 社の買収により、Apple 社の PC、タブレット、スマートフォンに指紋認証機能が搭載される可能性が高く、競争に勝ち抜くためには、機能面およびコスト面におけるの改善およびビジネスモデル自体の変更を模索する必要があります。ソフトウェア、ハードウェアの両面での研究開発が必要となります。

WWTT 社は、子会社である CTT 社を通じて独自ブランドでの指紋認証装置の開発販売を行っており、主に中国国内での展開を行っております。WWTT 社から認証精度の高いソフトウェアを採用するために当社の認証アルゴリズムを採用したいとの申し出があり、当社は平成 24 年 1 月より WWTT 社が開発している指紋認証装置に当社の認証アルゴリズムを組み込むという請負開発を受託しておりました。そこで今回、WWTT グループと共同で研究開発を推進することを目的として、本業務提携及び本第三者割当増資を行うことになりました。WWTT グループは従業員 2,335 名を有し、タッチパネルや指紋認証関連装置の製造については世界有数の実績があり、指紋認証関連装置の製造に関する価格面および生産体制については世界トップクラスの競争力を有しております。

また CTT 社は、平成 21 年までは、休眠会社であり、EMS（電子機器の受託生産サービス）を主力事業とする WWTT 社が、CTT 社独自ブランドによる指紋認証装置などの製造販売を行うために平成 22 年より活動を再開させた子会社であります。共同研究開発における WWTT グループの役割については、「下記Ⅱ. 3（2）調達する資金の具体的な使途」に記載のとおりです。

本資本業務提携及び本第三者割当増資の目的は、指紋認証事業分野における独自技術、研究開発力を有する当社と、指紋認証分野における EMS の大手企業として、秀でた生産技術力、コスト競争力などを有する WWTT グループが戦略パートナーになることにより、激変する事業環境下にお

いても、コスト的、技術的に優れた製品の開発、新たなビジネスモデルの構築などを通じて事業拡大を図り、企業価値を向上させることにあります。

(※1：米調査会社 IDC が平成 24 年 5 月 1 日に発表した資料による)

## 2. 本資本業務提携の内容等

本資本業務提携の具体的内容は次のとおりです。

### (1) 生産提携

- ・従来、台湾の別の企業にて製品の生産を行っていたが、今後、当社が新たに開発する製品については、全て WWTT グループにて生産を行う。
- ・今後、当社の製品を WWTT グループにおいて生産する場合には発注量によらず最優遇価格にて生産を行う。

### (2) 開発提携

- ・指紋認証を中心としたセキュリティに関連する新しい製品の開発を共同で行う。
- ・当社が WWTT グループに提供する指紋認証アルゴリズムのライセンス料は出荷量によらず最優遇価格にて提供する。

### (3) 販売提携

共同で開発した商品についての販売について

- ・日本および韓国については、当社が行う。
- ・台湾、中国およびシンガポールについては、WWTT グループが行う。
- ・その他の地域については、都度協議する。

### (4) 本第三者割当増資の実施

- ・CTT 社に対し、51,931 株(平成 24 年 9 月 21 日現在の当社普通株式の発行済み株式総数 259,657 株の 20.0%)の新株式の発行を行う。なお、本日現在において本資本業務提携に伴う WWTT 社および CTT 社からの取締役の受け入れの予定はございません。

## 3. 本資本業務提携の相手先の概要

WWTT 社及び CTT 社の概要につきましては、下記「Ⅱ. 6. 割当予定先の選定理由等」をご参照ください。

## 4. 本資本業務提携の日程

- |                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| (1) 本資本業務提携に関する取締役会決議日        | 平成 24 年 9 月 24 日 |
| (2) 本資本業務提携及び本第三者割当増資に関する契約締結 | 平成 24 年 9 月 24 日 |

## Ⅱ. 第三者割当による新株式の発行

### 1. 募集の概要

(1) 払込期日	平成 24 年 10 月 10 日(水)
(2) 発行新株式数	51,931 株
(3) 発行価額	3,100 円
(4) 調達資金の額	160,986,100 円
(5) 割当予定先	Cybertouch-Tech Co Ltd.
(6) その他	有価証券届出書の効力発生が前提となります。

### 2. 募集の目的及び理由

前記「Ⅰ. 本資本業務提携の概要」に記載のとおり、当社と WWTT 社および CTT 社は、製品競争力およびコスト競争力の強化を意図して、資本業務提携をすることで合意いたしました。

具体的な成果としては、認証率の高いアルゴリズムを当社が開発し、これを搭載した価格競争

力の高い指紋認証装置、または指紋認証モジュールを WWTT グループが生産し、世界市場における価格、技術的競争力を高めます。これにより当社の主力市場であった法人需要に加え、新たに PC 分野における消費者市場の開拓及び急速に普及しているスマートフォン市場の開拓を模索することで新たなビジネスモデルの構築を目指します。これらの活動が企業価値の向上に寄与するものと考えております。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定

#### (1) 調達する資金の額

払込金額の総額	160,986,100 円
発行諸費用の概算額	1,500,000 円
差引手取概算額	159,486,100 円

(注) 発行諸費用の概算額は、主に登記費用等となります。

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

本第三者割当増資による手取概算額の資金使途は以下の WWTT グループとの共同開発となります。

	開発内容	概算金額	設備投資等の主な内容・目的	支出予定時期
1	一般消費者向け 指紋認証製品共同開発 (ソフトウェア)	20 百万円	Windows 向けソフトウェア開発。当社として今回初めて一般消費者をターゲットとしたもの。Win8 ベースであらゆるユーザーが利用できる様、利便性を重視したソリューション(※1)の提供のためのソフトウェア共同開発。  WWTT グループ：保有するソフトウェアを提供頂きます。  当社：日本市場に販売するためのユーザーインターフェースの日本語化およびカスタマイズを行います。	平成 24 年 10 月～ 平成 24 年 12 月
2	新しい指紋認証 ユニット共同開発 (ハードウェア)	40 百万円	一般ユーザー向けに据え置き型のユニットに比べ「小型・軽量・おしゃれ・使いやすい」等を意識した持ち運びに便利な形状の新しい指紋認証ユニット共同開発。  WWTT グループ：既に保有している消費者向け製品を提供頂きます。  当社：WWTT グループ製品をベースに、日本市場をターゲットとしたユーザーインターフェースの日本語化とカ	平成 24 年 10 月～ 平成 25 年 3 月

			スタマイズを行います。	
3	Windows 製品向け 指紋認証アルゴリズム 共同開発	20 百万円	平成 20 年に開発したハイブリッド指紋認証をさらに進化させ、指先入力でも認証可能な新たな指紋認証アルゴリズム(※2)の共同開発。  WWTT グループ：アルゴリズムの開発には、大量の指紋データが必要となるため、主に指紋データの収集を行います。  当社：指紋認証アルゴリズムの開発を行います。	平成 24 年 10 月～ 平成 24 年 11 月
4	法人向け 認証基盤ソリューション 共同開発	50 百万円	3 を搭載した Windows OS 対応の指先入力でも認証可能なソリューション(※1)の開発。消費者向けの 1 とは異なり、セキュリティを重視した弊社既存製品の後継製品としての法人向け製品の共同開発。  WWTT グループ：ユーザーインターフェイスの中国語化およびカスタマイズを行います。  当社：上記製品そのものの開発を行います。	平成 24 年 10 月～ 平成 25 年 3 月
5	Android 対応指紋認証 ソリューション共同開発	30 百万円	指先入力でも認証可能な上記アルゴリズムをスマートフォン向けにカスタマイズし、4 と連携させたソリューション(※1)の共同開発。  WWTT グループ：モジュール(※3)及び指紋センサー用ドライバ(※4)の開発を行います。  当社：上記モジュール(※3)および指紋センサー用ドライバ(※4)を活用し、Android 向けのソフトウェアの開発を行います。	平成 24 年 10 月～ 平成 25 年 3 月

支出までの資金管理につきましては、当社取引金融機関普通口座にて管理、保管いたします。

上述した共同開発するソフトウェア（1， 3， 4， 5）については、当社の所有となり、当社は出荷数に応じてライセンスフィーを受領します。WWTT グループは、当社が開発したラ

イセンスを最優遇価格にて利用できます。

上述したハードウェア（２）については、共同開発をするため特許を申請する場合は共同特許となります。

なお、当社は本資本業務提携に伴う WWTT 社及び CTT 社の株式保有はいたしません。

また、WWTT 社および CTT 社は本件第三者割当増資によりその他の関係会社となる見込みであります。

- ※1 顧客の要望に応じてシステムの設計を行い、必要となるハードウェア、ソフトウェア、通信回線、サポート人員などを組み合わせて提供すること。
- ※2 コンピュータを使って、ある目的を達成するための処理手順。
- ※3 いくつかの部品の機能を集め、まとまりのある機能を持った部品の事。ここでは特に、指紋認証センサーと部品を組み合わせたもの。
- ※4 特定の入出力デバイス（ハードウェア）を制御し、アプリケーションソフトウェアと仲介する機能を提供するソフトウェア。

#### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社グループは、事業の選択と集中により、利益率の高いバイオメトリクス事業に注力したことで平成 23 年 12 月期連結会計年度において営業キャッシュ・フローはプラスに転じましたが、引き続き短期借入金等の流動負債は、手元流動性に対して高水準の債務となっております。こうした状況を解消するために、更なる業績の向上を目指して急成長しているタブレット型 PC やスマートフォン向け市場における指紋認証関連需要の新たな創出を図ることは企業価値の向上に資することとなり、指紋認証およびタッチパネルの分野で実績をもつ WWTT グループとの共同研究開発は、上記を実現するために必要であると判断いたしました。

#### 5. 発行条件等の合理性

##### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

今回の発行価額は、当社の発行済株式数、本第三者割当増資により発行される株式数及び市場環境、割当先の保有方針等を考慮しつつ、本第三者割当増資に係る平成 24 年 9 月 24 日開催の取締役会決議の直前営業日である平成 24 年 9 月 21 日の東京証券取引所マザーズ市場における当社普通株式の終値である 3,100 円といたしました。

日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」（平成 22 年 4 月 1 日付）によれば、第三者割当により株式の発行を行う場合には、その払込金額は、原則として、株式の発行に係る取締役会決議の直前日の価額（直前日における売買がない場合は、当該直前日からさかのぼった直近日の価額）を基準として決定することとされているため、本第三者割当増資の発行価額を決定する際にも、本第三者割当増資に係る取締役会決議日の直前営業日の終値を基準といたしました。

本第三者割当に係る新株式の発行価額と比較すると、本第三者割当による新株式発行に係る取締役会決議日（平成 24 年 9 月 24 日）の前取引日から遡る東京証券取引所における当社普通株式の直近 6 ヶ月の終値平均 3,109 円、直近 3 ヶ月の終値平均 3,258 円、直近 1 ヶ月の終値平均 3,208 円であり、直近 6 ヶ月の終値平均に対するディスカウント率 0.3%、直近 3 ヶ月の終値平均に対するディスカウント率は 4.8%、直近 1 ヶ月の終値平均に対するディスカウント率は 3.4%となります。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資による新規発行株式は 51,931 株となり、平成 24 年 9 月 21 日現在の当社発行済株式総数 259,657 株に対して 20.0%の希薄化となります。

しかしながら、上記「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、今回の資金調達タブレット型 PC やスマートフォンの普及が急激に浸透する環境のもと、当該情報端末機における情報セキュリティに対して大幅な需要増が見込まれるため、研究開発による当社グループの中長期的な売上・利益の拡充および持続的な成長に資するものであり、当社グループの企業価値向上に寄与するものであるため、本第三者割当増資による発行数量および株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) Cybertouch-Tech Co Ltd. の概要

(1)	名 称	Cybertouch-Tech Co Ltd.		
(2)	所 在 地	26/F, Tower2, Nina Tower, 8 Yeung UK Road, TWTL 353, Tsuen Wan, New Territories Hong Kong		
(3)	代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer Kelvin Wong		
(4)	事 業 内 容	バイオメトリクス製品の製造、販売		
(5)	資 本 金	HK \$ 10,000		
(6)	設 立 年 月 日	平成 12 年 10 月 13 日		
(7)	発 行 済 株 式 数	10,000 株		
(8)	決 算 期	12 月		
(9)	従 業 員 数	5 人		
(10)	主 要 取 引 先	Shinden Hightex Corporation Digital Persona, Inc. Validity Sensors, Inc.		
(11)	主 要 取 引 銀 行	Hang Seng Bank Limited		
(12)	大株主及び持株比率	World Wide Touch Technology (Holdings) Ltd. (100%)		
(13)	当事会社間の関係			
	資 本 関 係	当社株式を 19,348 株 (7.45%) 保有しております。		
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取 引 関 係	当社は指紋認証装置に関する開発業務を受託しております。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(14)	最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期	平成 23 年 12 月期
	純 資 産	△1.8	△1.2	△0.7
	総 資 産	0.0	11.0	2.3

1株当たり純資産(円)	△181	△124	△73
売上高	-	2.0	8.2
営業利益	△0.6	0.3	0.4
経常利益 又は損失(△)	△0.6	0.3	0.4
当期純利益 又は損失(△)	△0.6	0.3	0.4
1株当たり当期純利益 又は損失(△)(円)	△68	36	46
1株当たり配当金(円)	-	-	-

(単位：各期末時点の為替レートで百万円単位に換算しております。特記しているものを除く。)

CTT社は、平成21年までは、休眠会社であり、EMS(電子機器の受託生産受託サービス)を主力事業とするWWTT社が、CTT社独自ブランドによる指紋認証装置などの製造販売を行うために平成22年より活動を再開させた子会社であります。

本第三者割当増資はCTT社に対して行いますが、本資本業務提携はWWTT社も含めた3社間契約であるため、WWTT社の概要も記載します。

(2) WorldWide Touch Technology (Holdings) Ltd. の概要

(1) 名称	World Wide Touch Technology (Holdings) Ltd.
(2) 所在地	26/F, Tower2, Nina Tower, 8 Yeung UK Road, TWTL 353, Tsuen Wan, New Territories Hong Kong
(3) 代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer Kelvin Wong
(4) 事業内容	純粋持株会社
(5) 資本金	HK\$292,708,000
(6) 設立年月日	平成21年7月17日
(7) 発行済株式数	2,927,084,000株
(8) 決算期	12月
(9) 従業員数	2,335名
(10) 主要取引先	純粋持株会社であるため無し
(11) 主要取引銀行	Hang Seng Bank Limited DBS Bank(Hong Kong)Limited Industrial Commercial Bank of China(Asia)Limited Industrial and Commercial Bank of China Limited
(12) 大株主及び持株比率	Kelvin Wong (65.86%)
(13) 当事会社間の関係	
資本関係	WWTT社の子会社であるCybertouch-Tech Co Ltd.は、当社株式を19,348株(7.45%)保有しております。
人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	WWTT社の子会社であるCybertouch-Tech Co Ltd.より指紋認証装置に関する開発業務を受託しております。
関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
連結純資産	2,499	8,792	10,608
連結総資産	8,480	17,225	19,279
1株当たり連結純資産(円)	0.9	3.0	3.6
連結売上高	8,883	14,570	13,829
連結営業利益	1,718	2,743	991
連結経常利益 又は損失(△)	1,636	2,639	965
連結当期純利益 又は損失(△)	1,531	2,237	844
1株当たり連結当期純利益 又は損失(△)(円)	0.5	0.7	0.2
1株当たり配当金(円)	-	-	0.06

(単位：各期末時点の為替レートで百万円単位に換算しております。特記しているものを除く。)

※ なお、割当予定先からは、反社会的勢力との間において一切関係ない旨の誓約書の提出を受けており、その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

また、親会社である持株会社の WWTT 社は香港証券取引所の上場会社であるため、開示資料を確認することや CTT 社との本第三者割当増資の引き受けに係るこれまでの交渉や一連の協議及び証券会社等を通じて情報収集を行った結果、反社会的勢力との繋がりはないものと判断しております。

## (2) 割当予定先を選定した理由

WWTT 社は、当社の事業提携先である指紋認証センサーメーカーの Validity Sensors, Inc. により指紋認証装置及びモジュールの生産メーカーとして紹介されました。当社は、平成 24 年 1 月より WWTT 社を通じて CTT 社から指紋認証装置に当社の認証アルゴリズムを組み込むという請負開発を受託しておりました。Validity Sensors, Inc. の競合である、前述の Authentec 社の Apple 社による買収報道を契機に業界再編の取り組みが加速し、WWTT 社および CTT 社との本資本業務提携及び本第三者割当増資の協議を行うことになりました。上記「1. 本資本業務提携の目的及び理由」に記載のとおり、タブレット型 PC やスマートフォンの普及が急激に浸透しており、情報端末機における情報セキュリティに対して大幅な需要増が将来的に見込まれるため、WWTT 社および CTT 社との資本業務提携による WWTT グループとの関係構築は当社グループの中長期的な売上・利益の拡充および持続的な成長に資するものであり、当社グループの企業価値向上に寄与いたします。

本第三者割当増資の割当予定先を選定については、WWTT 社との協議の結果、WWTT 社より CTT 社を通じて出資を行いたいという申し出があり、当社が検討した結果決定したものです。

WWTT グループは、平成 22 年より活動を再開させた CTT 社を通じて、独自ブランド製品を製造販売しております。EMS 事業を主とする WWTT グループとしては、製品開発力が不足していて現時点で成果が出ていないものの、CTT 社が行っている自社製品を開発販売するメーカーとしての事業を当社との協業により拡大したい、かつ CTT 社を事業持株会社として、他のセキュリティ関連企業に対する出資または買収を進めていきたい、という意向があります。

この意向を受けて当社にて検討した結果、CTT 社自体は現状資産的背景が乏しく、売上も少ないものの、本資本業務提携は、当社と WWTT 社および CTT 社の三者間契約となっており、WWTT

社も契約主体として関わること、また、CTT 社から業務を受託し、平成 24 年 1 月より取引関係を進めている実績があること、などから総合的に勘案した結果、本資本業務提携の目的を果たす事が可能であると判断し、CTT 社を割当先として選定いたしました。

なお、CTT 社は平成 24 年 9 月 21 日現在、第 4 位の大株主であり、当社株式を 19,348 株保有しております。

(3) 割当予定先の保有方針

本第三者割当増資の割当予定先である CTT 社とは、株式引受契約書において、本割当により取得する株式を長期保有する意向表明をいただいております。また、新株式発行日から 2 年間に於いて当該割当新株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名および住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の方法等を当社に書面にて報告する旨、東京証券取引所へ報告する旨及び当該情報が公衆縦覧されることに同意する旨の確約書を受領しております。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

本第三者割当増資の割当予定先である CTT 社の預金口座の残高証明により CTT 社が払込金額 160,986,100 円を上回る資金があることを確認し、CTT 社払込金額 160,988,100 円を振り込むことを約した資金準備の確約書を受領しているため、本第三者割当増資の払い込みの問題はないものと判断しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成 24 年 9 月 21 日現在）		募 集 後	
服部 綾子	8.83%	Cybertouch-Tech Co Ltd.	22.88%
袋 正	8.09%	服部 綾子	7.36%
サン・クロレラ販売株式会社	7.74%	袋 正	6.74%
Cybertouch-Tech Co Ltd.	7.45%	サン・クロレラ販売株式会社	6.45%
株式会社サン・クロレラ	6.62%	株式会社サン・クロレラ	5.52%
服部 幸正	4.10%	服部 幸正	3.42%
徳田 昌彦	3.47%	徳田 昌彦	2.89%
赤羽 憲彦	1.97%	赤羽 憲彦	1.65%
三吉野 健滋	1.54%	三吉野 健滋	1.28%
楽天証券株式会社	1.52%	楽天証券株式会社	1.27%

※新株式発行前の大株主構成は平成 24 年 6 月 30 日時点の株主名簿を基に、平成 24 年 9 月 21 日までに提出された大量保有報告書等で異動が確認できるものにより作成しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当増資による、当社の平成 24 年 12 月期連結業績予想の変更はありません。なお、来期以降の業績に与える影響は精査中であります。

(企業行動規範上の手続き)

○ 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当増資は、①希薄化率が 25% 未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 432 条に定める独立第三

者からの意見入手および株主の意思確認手続きは要しません。

9. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績(連結)

	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
連結売上高	370百万円	457百万円	519百万円
連結営業利益	▲419百万円	▲107百万円	▲59百万円
連結経常利益	▲446百万円	▲159百万円	▲90百万円
連結当期純利益	▲1,348百万円	▲255百万円	▲8百万円
1株当たり連結当期純利益	▲18,829.65円	▲2,093.54円	▲32.55円
1株当たり配当金	—	—	—
1株当たり連結純資産	▲5,644.36円	74.54円	55.86円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(平成24年9月21日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	259,657株	100%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—	—
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成21年12月期	平成22年12月期	平成23年12月期
始値	76,800円	12,930円	6,980円
高値	81,700円	14,250円	6,980円
安値	4,320円	3,410円	2,400円
終値	13,000円	7,040円	3,500円

② 最近6か月間の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
始値	3,515円	3,190円	3,300円	2,350円	3,310円	3,210円
高値	4,245円	3,280円	3,470円	3,710円	3,400円	3,400円
安値	3,115円	3,000円	2,280円	2,000円	3,060円	3,060円
終値	3,200円	3,270円	2,350円	3,325円	3,300円	3,165円

③ 発行決議日前営業日株価

	平成24年9月21日
始値	3,100円
高値	3,200円
安値	3,100円
終値	3,100円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資（普通株式）

発行期日	平成21年11月25日
調達資金の額	発行総額70,004千円（発行価額：8,066円）、差引手取概算額52,010千円（注）
募集時における発行済株式数	93,248株
当該増資による発行株式数	普通株式 8,679株
募集後における発行済株式総数	普通株式 101,927株
割当先	柏原武利(8,679株)
当初の資金使途	①各種税金及び社会保険料などの支払い 11.1百万円 ②取引先への確定債務の支払い 10.0百万円 ③有利子負債圧縮のための資金 20.9百万円 ④運転資金 10.0百万円
当初の資金支出予定時期	①各種税金及び社会保険料などの支払い 11.1百万円 平成21年11月から平成21年12月まで ②取引先への確定債務の支払い 10.0百万円 平成21年11月から平成21年12月まで ③有利子負債圧縮のための資金 20.9百万円 平成21年11月から平成21年12月まで ④運転資金 10.0百万円 平成21年11月から平成22年3月まで
充当状況	現時点まで70,004千円の払込みが行われ、 ①各種税金及び社会保険料などの支払いに11.1百万円 ②取引先への確定債務の支払いに10.0百万円 ③有利子負債圧縮のための資金に20.9百万円 ④運転資金に10.0百万円 を充当しております。

(注) 払込金額の総額70,004千円の内、発行諸費用が5,000千円、金銭出資分が52,010千円、現物出資分（デット・エクイティ・スワップによるもの）が12,994千円であります。

・第三者割当増資（普通株式）

発行期日	平成22年4月22日
調達資金の額	発行総額80,272千円（発行価額：8,037円）、差引手取概算額77,984千円
募集時における発行済株式数	101,927株
当該増資による発行株式数	普通株式 9,952株
募集後における発行済株式総数	普通株式 111,879株

割 当 先	ロハス&カンパニー株式会社 (4,976 株) 江蔵 智 (4,976 株)
当初の資金使途	田中成奉、木本俊行の両氏が有する平成 21 年 12 月 21 日付貸付金債権 (各元本 45,000 千円) の弁済に充当する予定であります。
当初の資金支出 予 定 時 期	払込期日以降、できるだけ速やかに返済する予定。
充 当 状 況	平成 22 年 4 月 22 日に田中成奉、木本俊行の両氏への借入金の返済への 充当を完了しております。

・ 第三者割当増資 (普通株式)

発 行 期 日	平成 22 年 12 月 22 日
調 達 資 金 の 額	発行総額 738,890 千円 (発行価額 : 5,000 円)、差引手取概算額 0 円 ※現物出資のため、調達資金はありません
募集時における 発 行 済 株 式 数	111,879 株
当該増資による 発 行 株 式 数	普通株式 147,778 株
募集後における 発 行 済 株 式 総 数	普通株式 259,657 株
割 当 先	服部幸正(12,305 株)、服部綾子(35,020 株)、有限会社かぼちゃ(10,453 株)、株式会社東広(2,000 株)、袋正(27,000 株)、SUN プロパティマネージメント株式会社(31,000 株)、クラム 1 号投資事業組合(9,000 株)、クラム 2 号投資事業組合(3,000 株)、株式会社松壽(18,000 株)、
当初の資金使途	全額現物出資のため、該当ありません。
当初の資金支出 予 定 時 期	全額現物出資のため、資金支出はありません。
充 当 状 況	全額現物出資のため、該当ありません。

10. 発行要項

(1) 第三者割当増資

①発行新株式数	普通株式 51,931 株
②発行価額	1 株につき 3,100 円
③発行価額の総額	160,986,100 円
④資本組入額	1 株につき 1,550 円
⑤募集または割当方法	第三者割当の方法による
⑥申込期日	平成 24 年 10 月 10 日 (水)
⑦払込期日	平成 24 年 10 月 10 日 (水)
⑧前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生が条件となります。	

### Ⅲ. 主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動

#### 1. 異動予定日

平成 24 年 10 月 10 日（水）

#### 2. 異動が生じた経緯

本第三者割当増資による新株発行に伴い、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動が発生する見込みであります。

#### 3. 主要株主である筆頭株主の異動について

##### （1）新たに主要株主である筆頭株主となるもの

① 名 称	Cybertouch-Tech Co Ltd.
② 所 在 地	26/F, Tower2, Nina Tower, 8 Yeung UK Road, TWTL 353, Tsuen Wan, New Territories Hong Kong
③ 代表者の役職・氏名	Chief Executive Officer Kelvin Wong
④ 事 業 内 容	バイオメトリクス製品の製造、販売
⑤ 資 本 金	HK \$ 10,000

##### （2）筆頭株主に該当しなくなる株主の概要

① 氏 名	服部 綾子
② 住 所	名古屋市東区

#### 4. 異動前後における当該株主の所有株式数（議決権の数）及び総株主の議決権の数に対する割合

##### （1）Cybertouch-Tech Co Ltd.

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権 の数に対する 割合※	大株主順位
異 動 前 (平成 24 年 9 月 21 日現在)	19,348 個 (19,348 株)	7.45%	第 4 位
異 動 後	71,279 個 (71,279 株)	22.88%	第 1 位

##### （2）服部 綾子

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権 の数に対する 割合※	大株主順位
異 動 前 (平成 24 年 9 月 21 日現在)	22,930 個 (22,930 株)	8.83%	第 1 位
異 動 後	22,930 個 (22,930 株)	7.36%	第 2 位

※ 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数  
平成 24 年 9 月 21 日現在の発行済株式総数

一株  
259,657 株

#### 5. その他の関係会社の異動について

(1) 異動前後における Cybertouch-Tech Co Ltd. 及び World Wide Touch Technology (Holdings) Ltd. の所有する議決権の数及び所有割合

①Cybertouch-Tech Co Ltd.

	属性	議決権の数 (議決権所有割合)		
		直接所有分	合算対象分	合計
異動前	—	19,348 個 (7.45%)	0 個 (0.00%)	19,348 個 (7.45%)
異動後	その他の関係会社	71,279 個 (22.88%)	0 個 (0.00%)	71,279 個 (22.88%)

(平成 24 年 9 月 21 日現在)

②World Wide Touch Technology(Holdings)Ltd.

	属性	議決権の数 (議決権所有割合)		
		直接所有分	合算対象分	合計
異動前	—	0 個 (0.00%)	19,348 個 (7.45%)	19,348 個 (7.45%)
異動後	その他の関係会社	0 個 (0.00%)	71,279 個 (22.88%)	71,279 個 (22.88%)

(平成 24 年 9 月 21 日現在)

Cybertouch-Tech Co Ltd. および WorldWide Touch Technology (Holdings) Ltd. が、新たにその他の関係会社に該当いたしますが、会社概要は 6 (1) 「Cybertouch-Tech Co Ltd. の概要」 および 6(2) 「WorldWide Touch Technology (Holdings) Ltd. の概要」に記載のとおりとなります。

(2) 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無等

今回の異動により、その他の関係会社に、WWT社およびCTT社が該当いたします。CTT社はWWT社の100%子会社であり、重要事項の決定権・執行権はWWT社が握っているため、最も影響が大きいのはWWT社であります。WWT社は香港証券取引所に上場しているため開示対象となる非上場の親会社等には該当いたしません。

以 上